

## 令和5年度 大津市歯科保健推進協議会議事録

会議名称：令和5年度大津市歯科保健推進協議会

開催日時：令和5年9月21日（木）14時30分～15時30分

場 所：明日都浜大津2階 健康づくり会議室

出席者：（委員）6名 （事務局）9名

欠席者：（委員）1名 傍聴者：なし

### 【議 題】

- |                                 |         |
|---------------------------------|---------|
| (1) 乳幼児健診事業について                 | (健康推進課) |
| (2) 障害者（児）歯科保健事業について            | (健康推進課) |
| (3) 歯周病検診事業について                 | (健康推進課) |
| (4) 歯科保健啓発事業について                | (健康推進課) |
| (5) 就労世代の歯科健康診査推進事業に関する実証事業について | (健康推進課) |
| (6) フッ化物洗口事業について                | (健康推進課) |
| (7) 介護予防事業について                  | (長寿政策課) |

### 【会議結果（要旨）】

#### (1) 乳幼児健診事業について

(事務局)

令和4年度のう蝕罹患率および1人平均う歯数については、全ての健診で減少していました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年に一時健診を中止していた期間があることから、今年度についても、臨時開催を設け実施をしています。今年度中に全ての健診で遅れを解消する予定です。

(会 長) 何か意見、質問はありますか。

(委員 意見なし)

#### (2) 障害者（児）歯科保健事業について

(事務局)

##### ①障害児巡回歯科保健指導

療育教室通園児に対して歯科健診および歯科保健指導、歯科講話を実施しています。かかりつけ歯科を持つ者の割合については、1回目よりも2回目の方が高いことから、本事業を通じて、歯科受診に繋がっていることが伺えます。

今年度においても感染対策を行いながら、計画どおり実施をしています。今後も一人ひとりの主訴に丁寧に対応していきながら事業を進めてまいります。

##### ②障害者（児）歯科研修会

歯科医療従事者を対象に、年1回開催している研修会ですが、令和4年度においては、

会場とオンラインで開催をしました。今年度についても、令和6年2月に開催する予定です。

(会 長) 何か意見、質問はありますか。

(委員 意見なし)

### **(3) 歯周病検診事業について**

(事務局)

30歳・35歳・40歳・45歳・妊婦を対象に歯周病検診を実施しています。令和4年度の受診人数は1,163人で、受診率は6.4%でした。令和3年度と比較すると、受診人数・受診率とも上昇しています。歯周病検診受診者のうち、約70%の方がむし歯や歯周病といった理由で要精密検査となっています。加えて、要精密検査と判定された方のうち、約80%がその後の治療や定期健診につながっている状況です。

今年度の受診状況ですが、4月から7月までで、476人の受診があり、令和4年度と同様の受診人数で推移しています。内訳を見ると妊婦の受診が増えています。増加した要因として、今年度より自己負担金を無料としたことが考えられます。

加えて今年度、歯周病検診（妊婦）に関するアンケート調査も実施しました。対象は、10か月児健診対象児の母親で、調査件数は380件です。出生順位別の受診の有無では、第1子の受診が46.3%と最も多かったです。受診した理由としては、「クーポン券を見た」が28.1%と最も多く、次いで「市の助成」が21.3%、「母親のむし歯が子に影響するから」が19.0%でした。反対に、歯周病検診（妊婦）を受診しなかった理由としては、「忙しかった」が26.4%と最も多く、次いで「すでに歯科受診をしている」が21.8%、「体調が悪かった」が14.0%でした。仕事をしていたり、兄姉の世話があたり、忙しくなかなか受診できないという背景があるかと思いますが、時間を作って受けていただけるよう、今後も歯科医師会や産婦人科の先生方と連携を図りながら啓発を進めていきたいと考えています。

(会 長) 何か意見、質問はありますか。

(会 長) 妊婦の対象者数はどのくらいでしょうか。

(事務局) 年度によりますが、ここ数年はだいたい2,300~2,500人の間で推移しています。

(委 員) 受診理由について、「産婦人科で勧められた」との意見がありますが、何か産婦人科と連携した啓発等を行っているのでしょうか。

(事務局) チラシを作成し、産婦人科で配布していただくよう依頼しています。

(会 長) 他に何か意見、質問はありますか。

(委員 意見なし)

### **(4) 歯科保健啓発事業について**

(事務局)

#### **① 出前講座・健康教育**

令和4年度においては、新型コロナウイルスの影響により、地域の自治会等の集まりが無くなっているところがあり、依頼は多くありませんでした。しかし、今年度に入り、コ

ロナが5類に移行されたことを受け、依頼件数は増加傾向にあります。

## ②地域歯科保健推進研修会

市民に歯科保健に関する知識を普及・啓発していくために年1回開催しています。令和4年度においては、子どものむし歯予防・保護者の歯周病予防をテーマに20名の参加がありました。今年度についても、同様のテーマで開催し、46名の参加がありました。

## (5) 就労世代の歯科健康診査推進事業に関する実証事業について

(事務局)

就労世代を対象とした効果的な歯科健診等のあり方を検討することを目的に、厚生労働省がNTT データに事業委託し、各自治体と連携した実証事業が実施されます。大津市においても昨年度に引き続き、本実証事業に参加します。

### ①簡易な検査等の導入の支援の実施

集団特定健康診査の結果お返し会に参加していただいた方に対し、歯周病の簡易検査を行います。昨年度においては、感染対策という点で会場では実施せず、検査キットを配布し自宅で実施していただくこととしましたが、参加人数が少なく、簡易検査の結果についても歯周病リスクに大きな差はありませんでした。

今年度においては、会場で実施し、かつ歯周病予防に関するリーフレットの配布および歯科衛生士によるワンポイントアドバイスを実施する予定で準備を進めています。

### ②ターゲットを絞った受診勧奨等の導入の支援の実施

昨年度においては、40歳～64歳の糖尿病患者で過去1年間の歯科未受診者を対象に、受診勧奨を行いました。勧奨後の歯科受診率は5.8%でしたが、受診勧奨を行う前の受診率と変化はなく、糖尿病ハイリスク者の歯科受診勧奨には大きな効果は認められませんでした。

今年度においては、45歳で歯周病検診未受診者を対象に受診勧奨を行います。対象者の抽出についてはKDBを活用し、その後の受診につながっているかについても追跡していく予定です。

(会長) 説明が終わりましたので、ご意見、ご質問等があればお願いいたします。

(委員) ターゲットを絞った受診勧奨について、KDBを活用とありますが、具体的にどのようなものなのでしょうか。

(事務局) 国保のレセプトや特定健診の結果が見られるデータベースのことです。

(委員) 昨年度の対象者についてもKDBを活用したのでしょうか。

(事務局) そうです。その後の受診に繋がったかの確認をするために、国保加入者を対象としています。

(委員) 糖尿病の方をターゲットに絞り、歯科受診勧奨したことはよかったと思いますが、受診率が伸びなかった理由として何かありますか。

(事務局) 受診勧奨はがきをきっかけに、歯科に繋がった方もおられるので、少なからずとも効果はあったとは思いますが、劇的な効果には至らなかったと考えます。

(委員) たばこや糖尿病については、歯科医師会の先生方からもよく聞きますので、目の付け所としてはよかったのではないかと思います。

(会 長) 他に何か意見、質問はありますか。

(委員 意見なし)

## **(6) フッ化物洗口事業について**

(事務局)

昨年度、本協議会にて「大津市フッ化物洗口マニュアル」について答申を行い、マニュアルの制定を行いました。また、フッ化物洗口実施に関するプロジェクト会議を立ち上げ各団体からご意見を伺いながら進めているところです。

昨年度においては、石山小学校でモデル実施を行いました。実施方法については、感染対策の配慮から、ポーシオンタイプの洗口液を家庭に持ち帰り実施をしました。学校教育課からは、保護者や学校の理解を得られたことで、円滑な実施ができたと報告を受けています。

今年度においては、引き続き石山小学校にて学校での実施を行いました。ただ、実施方法としては、コロナに対する一定の感染対策が必要であったことから、一般的な方法（児童が教員の合図で一斉にブクブク）ではなく、5人ずつ順番に手洗い場で洗口をする方法となりました。評価として、誤飲に関する事故もなく実施できたとのことですが、今回の方法では時間も人手もかかってしまうため、継続実施は難しく、次年度に向け実施方法等の検討を進めていくとのことでした。

(会 長) 説明が終わりましたので、ご意見、ご質問等があればお願いいたします。

(委 員) モデル小学校の選定理由について、また、次年度の実施方法について何か課題解決に向けた検討がなされているのかを教えてください。

(事務局) 選定理由につきましては、DMFT 指数が他の学校と比較すると高かったこと、学校の規模が中規模であること、さらに保育園・幼稚園が各1園であるため、今後水うがいや園でのフッ化物洗口を進めていくにあたり、連携が取りやすいという理由です。次年度については、他市町で実施している一斉にブクブクうがいをする方法について視野に入れていると学校教育課から聞いています。実施時期やモデル校を継続するのか、新規で始めるのかということについて詳細は決まっていません。

(会 長) 他に何か意見、質問はありますか。

(委員 意見なし)

## **(7) 介護予防事業について**

(事務局)

### **①多職種連携事業における研修会および市民啓発**

各あんしん長寿相談所が事務局となり、7ブロックごとに多職種連携チームを設置し、地域の多職種との協働により、企画会議・研修会・市民啓発講座を行っています。昨年度も、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、研修会や市民啓発が予定通り開催できずでしたが、オンラインや集合研修で開催するなど、地域の実情に合わせて取り組んでい

ます。

## ②おおつ元気アップ教室

総合事業のメニューとして、運動機能向上プログラム、口腔機能向上プログラム、栄養改善プログラム、認知機能向上プログラムを組み合わせた「複合型プログラム」を実施していましたが、年々参加者が減少していたため、今年度より事業を中止しています。

## ③高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業

ポピュレーションアプローチとして、高齢者の通いの場に講師を派遣して講座を実施しています。講座では後期高齢者の質問票により参加者の健康状態を把握し、口腔機能の低下が疑われる方へ歯科衛生士や看護師等が健康相談、保健指導を実施しています。昨年度は実施回数 28 回、参加者数 436 人でした。コロナの影響を受けて、参加者数が伸び悩んでいましたが、少しずつ以前の状況に戻りつつあります。

つぎにハイリスクアプローチとして、口腔機能が低下している者に歯科衛生士等が訪問して、オーラルフレイルやその他健康に関する問題について支援を行っています。昨年度は 149 人に保健指導を行い、そのうち 33 人に口腔機能低下予防プログラムに参加いただきました。通いの場でアプローチをした方の参加が多い傾向にあります。

## ④フレイル予防事業

高齢期に入る 65 歳の早期段階からのフレイル予防、健康な生活を送る意識づけを目的として、フレイル予防のパンフレットと併せて市で実施している一般介護予防事業の周知、無料体験クーポンの配布を行っています。体験メニューの中に歯科口腔チェックがあり、昨年度の利用者数は全体で 360 人、うち歯科口腔チェックを利用した人は 68 人でした。検査結果は、異常なしが 22 人・要指導が 10 人・要精密検査が 35 人（判定不明 1 人）でした。

(会 長) 説明が終わりましたので、ご意見、ご質問等があればお願いいたします。

(委 員) おおつ元気アップ教室について、今年度は事業中止とありますが、それに代わる新たな事業等の予定はありますか。

(事務局) この事業の対象者は要支援 1、2 の方と総合事業対象者であり、対象者がかなり絞られてしまう中でのサービスの利用となります。包括支援センターや事業所へ周知も行いましたが、利用人数を伸ばすことができませんでした。一体的実施事業において予防というところで進めているので、この事業については一旦終了とし、また検討していきたいと思えます。

(委 員) ケアマネの方がこの事業を知っていただいていると、もう少し利用者を増やせたのではないかと感じました。

(会 長) 他に何か意見、質問はありますか。

(委員 意見なし)

(会 長) それでは、質問も他にないので、本日の議題は以上をもって終了いたします。事務局においては、本日委員の皆様から出されました意見等を参考にしていただき、来年度の事業推進に向けた取り組みに尽力されることをお願いいたします。

以上